

丸の内 大成は現場改善せよ 首都圏組合でイエローA

「けんせつ」2253号(8月1日付)1面で報道した丸 大成建設)で引き続き、労働



「工期守るなら命守れ」などのプラスターを掲げ退場する労働者を励ました

環境改善を求める宣伝行動を7月26日に行ないました。

この日は、イエローアクションと称して黄色い揃いのタオルを首にかけて、退場する労働者にスポーツドリンクや塩アメを渡し、また「暑さ半端ないって」「職人は道具じゃない・クーラーつけろ」「工期守るなら命守れ」など書かれたプラスターを掲げて、100人を超える全建総連関東地協に結集する仲間(東京土建からは39人)が参加、現場の状況について聞き取りしながら大々的に行ないました。



全体の4割が終了したといわれる競技場前で宣伝

したが、「地下の詰所にはクーラーはない。全然変わっていない」「熱中症で倒れた仲間もいる」「丸の内3-2は最低レベルの現場。一度入ってみればわかる」と依然として改善が不十分であることへの怒りの声が多数ありました。また、7月31日には早朝と夕方2度にわたって宣伝を行ない、現場労働者の告発をファックスや開設したツイッターに寄せるように、訴えました。

開幕2年前に宣伝 現場トラブルは組合へ

新国立

7月24日、2020東京オリパラ開会まで2年という日を迎えました。この日に合わせ、全建総連は夕方新国立競技場建設現場で、約100人(東京土建は29人)が参加して宣伝行動を行いました。

この場での宣伝は13回目になりますが、宣伝カーに乗った弁士はこの間の現場改善の成果なども知らせました。マイクを握った小坂剛東京土建常任中執は「新国立競技場は現在40%まで終了し来年の11月末に完成引き渡しだといわれています。労働者の皆さんは無理をせずに仕事をしてください。また元請の大成建設の皆さんは労働者の状態によく気を配って、熱中症などで倒れる人がでないようにしてもらいたい」と訴えました。

この日の早朝には、東京土建独自で宣伝を行ないました。向井委員長は「皆さんの積極的な発言をお願いしたい」とあいさつ、矢吹学習制度化委員長は「支部50周年を見据えて組織の回復、仲間の高齢化、仕事の多様化の中で、『闘って学び学んで闘う』土建の精神を身に付ける必要がある」と会議の位置づけを話しました。

【八王子・大工・山田光正通信員】7月22日、八王子支部は第3回活動者会議を開催し86人が参加しました。向井委員長は「皆さんの積極的な発言をお願いしたい」とあいさつ、矢吹学習制度化委員長は「支部50周年を見据えて組織の回復、仲間の高齢化、仕事の多様化の中で、『闘って学び学んで闘う』土建の精神を身に付ける必要がある」と会議の位置づけを話しました。

八王子 群の強化がカギ 創立50周年見据えて

【練馬・書記・奈良憲成記】7月22日、練馬支部は練馬駅北口のココネホールで「活動者会議2018」を開催し227人が集まりました。「組織(人づくり)」を統一テーマに分会経験交流を柱に行なわれました。本部の沼口専従常任中執待遇の講演



女の子が足場組立を体験

12の仕事を経験 足立が初の建設フェスタ

7月29日、元洲江公園で足立支部の仲間が「足立建設フェスタ」を行ないました。「宇都宮市の専門工事団体が建設業の仕事の体験を市民にしてみようイベントを実施することを業界紙で知り、昨年11月に訪問し話を聞き、足立支部でも計画しました。12ブース用意しましたが、全部体験すると2時間くらいかかるかな。公園にある植物園には休日約2000人の人が訪れるそうなので、みんな来場してもらえればいいです」と早川勝久書記長。体験の内容は、①足場の防水②左官③塗装④上棟式⑤ポルト削り、かんざり⑥家具組み立て⑦ロープワーク⑧移動式クレーン操縦⑨建設職人コスプレ⑩重機⑪タンク試乗⑫高所作業車試乗の12。建設業に若い人がいないのは深刻。私たちの仕事をこのような企画で伝えていくのが大切なのではないでしょうか。継続していきたいと考えています」と実行委員長の村山博司さんは話していました。

安心して働ける環境のため声あげよう

【台東・書記・吉田啓一通信員】8月5日、上野精養軒で台東支部創立60周年の記念式典・祝賀会を開催し、99人が参加しました。式典では遠藤委員長から1958年8月1日に下谷神社の社務所で結成総会を行ない、労働組合として歩み出し、諸先輩の努力により、働く建設職人の命を守り通したことに感謝し、今後70年、80年と続く組織にしようと挨拶がありました。

功労者表彰では在籍60年以下谷分会の深尾智明さん、50年功労者3人に感謝状と記念品を贈呈しました。深尾さんから、元々は足立支部に所属していたが、文台支部が結成したことで、移動してきました。当時日雇健保で長男を出産し、分娩費が700円で済んだことに大変感謝している」と挨拶がありました。

五輪現場従事者 で意見を交換

7月27日、東京土建本部で「東京オリパラ現場従事者交流会」を行ない、36人が参加しました。「新国立現場に入ったが、資格の問題で追い返されるなど納得できないことばかり。個

人では何ともできないので黙っている」「晴海の選手村現場の型枠工事の話があったが、断った。工程がきびしい。スラブがなく、間仕切り壁のみ。かなりのピッチでやらないと利益がでないのは明らかだと判断したから。また搬入搬出の条件も悪い」と五輪現場の問題が明らかにされました。

人づくりテーマに 全員発言でグループ討議

練馬

【組織(人づくり)】を統一テーマに分会経験交流を柱に行なわれました。本部の沼口専従常任中執待遇の講演

秋の大運動へみんなて討議

【練馬・書記・奈良憲成記】7月22日、練馬支部は練馬駅北口のココネホールで「活動者会議2018」を開催し227人が集まりました。「組織(人づくり)」を統一テーマに分会経験交流を柱に行なわれました。本部の沼口専従常任中執待遇の講演

「先輩の努力に感謝」 台東60周年で記念式典

左から杉本(主婦の会)会長、遠藤委員長、小宮(シニア)会長



功労者表彰では在籍60年以下谷分会の深尾智明さん、50

功労者3人に感謝状と記念品を贈呈しました。深尾さんから、元々は足立支部に所属していたが、文台支部が結成したことで、移動してきました。当時日雇健保で長男を出産し、分娩費が700円で済んだことに大変感謝している」と挨拶がありました。